

資料 2

平成27年度 朝ごはん運動実施計画

基 本 方 針		1 ごはんを中心とした食生活の改善								
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(1)ごはんを中心とした食生活の推進に関する事項								
ガ イ ド ラ イ ン	・朝食を欠食する児童生徒を、平成１３年度の１１．３％から０％を目指す ・幼児、児童、生徒の肥満児の割合を、平成１５年度の１６．７％から７％以下にすることを旨とする				実 績		評 価			
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容		実 施 目 標 等		予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当
	①	朝食欠食状況調査の実施	食生活状況等調査（1回/3年）	子ども（3歳～15歳）の状況把握	0			健康保険課 教育委員会		
			総合健診時のアンケートの実施	各年代（40歳以上）の状況把握	0					
	②	肥満状況の把握	保育所幼稚園及び小中学校の身体測定と特定健診のデータから把握	対象者1,294人（3～15歳）、1,952人（特定健診受診者）	0					
	③	朝ごはん標語の看板設置	設置済看板の補修等	随時実施	18			健康保険課		
	④	正しい生活（食も含む）習慣の啓発の推進	チラシ作成及広報等で周知	年数回実施	150			健康保険課		
	⑤	朝ごはん運動の推進啓発活動	成人式などの開催時		0			教育委員会		
計					168	0				

平成27年度 朝ごはん運動実施計画

基 本 方 針		1 ごはんを中心とした食生活の改善					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(2)家庭での食に対する理解の促進に関する事項					
ガ イ ド ラ イ ン	・1日当たりの塩分摂取量を、平成15年度の13.2gから10.0g未満を目指す ・1日当たりの野菜摂取量を、平成14年度の217.3gから350.0g以上を目指す ・毎日1個のりんごを食べる			実 績		評 価	
実 施 計 画	事 務 事 業 名	事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	① 食卓に増やそう野菜減らそう塩分運動の推進	健康食の普及	いのちのまつり及び随時実施	90			健康保険課
	② 町総合健診時の朝食提供	総合健診受診者への、減塩で野菜の多い朝食の提供	健診期間（23日）に実施（1,150食：50食／日）	345			健康保険課
	③ 離乳食教室の開催	4か月、7か月、10か月児の母親を対象に実施	各月1回実施	228			健康保険課
	④ 若いママのための調理実習	乳幼児を持つ母親を対象に実施	年5回	130			健康保険課
	⑤ PTA調理実習	PTA会員を対象に実施	年2回	5			健康保険課
	⑥ 野菜を多く使った調理実習の実施（健康教室）	一般町民を対象に実施	年3回	170			健康保険課
	⑦ 尿中塩分検査の実施	特定健康診査受診者	年1回実施 対象者2,416人 目標 平均12.0g	522			健康保険課
計				1,490	0		

平成27年度 朝ごはん運動実施計画

基 本 方 針			1 ごはんを中心とした食生活の改善					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目			(3)安全な食品を選択するために必要な正しい知識の習得の支援に関する事項					
ガイド ライン	・食生活と栄養に関する学習の場を増やす ・安全な食品に対する情報提供の場を増やす			実 績			評 価	
実施 計画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	①	地区伝達講習会の実施	安全な食品及び栄養に関する情報提供	年6回実施	0			健康保険課
	②	食生活と栄養に関する学習の場づくり	いのちのまつり開催時食生活改善推進員及び栄養士会による情報提供	いのちのまつり時実施	0			健康保険課
	計				0	0		

平成27年度 朝ごはん運動実施計画

基 本 方 針			2 早寝、早起き運動の推進					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目			(1)規則正しい生活習慣の促進に関する事項					
ガ イ ド ラ イ ン	・酒は1日1合程度で週に2日の休肝日を目指す ・1日10,000歩のウォーキングを目指す (年齢や健康状態で歩数を個人で調整) ・喫煙者の減少を目指す ・1年に1回は健康診査の受診を目指す ・鶴田町健康づくり推進協議会等の活性化を図り、健康づくりと受診率向上を目指す ・十分な休養と睡眠を取りストレスの軽減を目指す (注) 乳がん検診については、H20年度から60歳以上のマンモグラフィのみの受診は統計に反映されなくなったため受診率が低くなっている。			実 績			評 価	
実 施 計			事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額(千円)	決算額(千円)	進 捗 状 況 等	担 当 課
	①	生活習慣病予防学習会の実施	随時実施	年120回実施	110			健康保険課
	②	健康診査の実施	特定健診	目標受診数 1,952人	16,041			健康保険課
			胃がん検診	目標受診数 2,200人	11,880			健康保険課
			大腸がん検診	目標受診数 2,900人	4,957			健康保険課
			肺がん検診	目標受診数 3,800人	6,399			健康保険課
			子宮頸がん検診(卵巣がん含む)	目標受診数 690人	4,303			健康保険課
			乳がん検診	目標受診数 880人	3,510			健康保険課
	③	がん検診精密検査料自己負担額補助事業	各種がん検診要精検者の検査料の一部を補助	651人 (限度額8,000円)	4,036			健康保険課
④	健診受診勧奨	各組織の会合に出席し、受診勧奨をする	年10回程度	0			健康保険課	

平成27年度 朝ごはん運動実施計画

画	⑤	健診結果説明会	国保特定健診受診者全員に対して健診結果の説明と保健指導を実施	目標 1,952人	190			健康保険課
	⑥	地域体験活動事業	ジュニアリーダー研修会で体験学習	年1回実施 参加目標者数30人	140			教育委員会
	⑦	朝の10分間読書	町内全小中学校で実施	毎日実施	1,775			教育委員会
	⑧	鶴田町学校保健会講習会	保健に関する講習会 小中学校教職員対象	年3回実施	0			教育委員会
	計				53,341	0		

平成27年度 朝ごはん運動実施計画

ガイ ド ラ イ ン 項 目		(2)就寝及び起床の標準時間に関する事項						
ガイ イ ド ラ イ ン	・ 幼児期 睡眠は、現状が9時間程度であるが、11時間以上を目指す 就寝は、午後8時までを目指す ・ 学童期低学年 起床は、学校が始まる2時間前を目指す 就寝は、午後9時までを目指す ・ 学童期高学年 起床は、学校が始まる2時間前を目指す 就寝は、午後10時までを目指す ・ 中学生、高校生 睡眠は、7時間以上を目指す 起床は、朝ごはんの時間を含めた余裕のある起床時間を目指す			実 績			評 価	
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	①	就寝、起床時間の調査の実施	対象：3歳から15歳まで	「食生活等状況調査」（3年に1回の実施であり、今年の実施は無し。）と一体的に実施。（対象は、1,381人）（平成28年度の実施予定）	0			健康保険課 教育委員会
	②	乳幼児の就寝、起床時間の調査の実施	幼児健診における調査	年8回実施	0			健康保険課
	③	適正な生活リズム定着への支援	乳幼児保護者への啓発	誕生証書交付式 年12回 乳児健診 年36回 1歳6か月児健診 年4回 3歳児健診 年4回	0			健康保険課
	④	早寝、早起き運動の実施	チラシ等による啓発	年3回実施	0			教育委員会
			各小中学校の校長、養護教諭、学校職員による児童、生徒への周知	随時実施	0			
	計					0	0	

平成27年度 朝ごはん運動実施計画

基 本 方 針		3 安全及び安心な農産物の供給						
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(1)農薬等の適正な使用及び管理の徹底に関する事項						
ガイドライン	・食用作物等への農薬使用について、農薬登録時に定められた基準である適用作物の単位当たり使用量の最高限度又は希釈倍数の最低限度、使用時期、使用総回数を順守し安全・安心な産地づくりを推進する				実 績		評 価	
実施計画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	①	農薬使用技術講習会開催	農事振興会及び防除組合等を対象に農薬使用技術講習会を開催し、農薬使用基準の遵守を図る	年2回開催	0			産業観光課
	②	ポジティブリスト制度の啓発活動	農薬使用基準等や飛散防止に係わる情報の提供	年1回配布	203			産業観光課
	計				203	0		

平成27年度 朝ごはん運動実施計画

基 本 方 針			3 安全及び安心な農産物の供給							
ガ イ ド ラ イ ン 項 目			(2)農産物の生産履歴の記帳に関する事項							
ガイ ド ラ イ ン	・生産履歴の公開と流通情報も組み込んだトレーサビリティ（追跡可能）を図り、消費者の求める表示内容の正確性、信頼性に対応するため生産者は農産物の安全性をアピールし、付加価値を付ける				実 績			評 価		
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容		実 施 目 標 等		予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	①	トレーサビリティの強化	各関係機関との検討会及び情報交換会の開催		年2回開催		0			産業観光課
	②	農産物等の生産履歴記帳及び適正農業規範（GAP）の推進	認証取得促進チラシなどによる周知活動		年1回実施		660			産業観光課
	計					660	0			

平成27年度 朝ごはん運動実施計画

基 本 方 針			3 安全及び安心な農産物の供給					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目			(3)食品表示の適正化の推進に関する事項					
ガイド ライン	・農林物資の規格及び品質表示の適正化に関する法律（改正ＪＡＳ法）のもと有機農産物及び有機農産物加工食品のＪＡＳ規格について、生産方法及び表示を明確化することにより信頼性を確保し農産物等の価値を正当に評価される活動を展開する			実 績			評 価	
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	①	食品表示に関する講習会	各種食品表示に関する講習への参加	随時	0			産業観光課
	②	農産物生産に関する表示適正化	農協やあるじゃ等と連携を図りながら表示に関する指導活動	年2回実施	0			産業観光課
	計				0	0		

平成27年度 朝ごはん運動実施計画

基 本 方 針		3 安全及び安心な農産物の供給						
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(4)環境にやさしい安全及び安心な農産物の生産体制の強化に関する事項						
ガイド ライン	・ 特別栽培農産物に対する消費者の信頼確保と生産者の生産意欲向上を図り環境にやさしい農業に取り組む産地を育成する ・ 土づくり、化学肥料、化学農薬の使用低減を行い持続性の高い農業生産方式の導入を推進する			実 績			評 価	
実施 計画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	①	青森県特別栽培農産物認証制度の推進	県関係機関及び農協と連携を図りながら農産物認証制度への誘導	目標認証件数：7件	0			産業観光課
	②	エコファーマー認定制度の推進	県関係機関及び農協と連携を図りながら認定者を増やす	目標認定者：130戸	0			産業観光課
	③	日本一健康な土づくり実践事業	農業生産団体が土づくり等の環境保全農業活動を行う	随時	0			産業観光課
	計				0	0		

平成27年度 朝ごはん運動実施計画

基 本 方 針		3 安全及び安心な農産物の供給						
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(5)食品の安全及び安心に係る消費者への情報提供に関する事項						
ガイド ライン	・農政改革大綱において消費者の視点を重視した食糧政策構築の観点から消費形態の多様化や味、鮮度、健康、安全性に対する事項について情報提供する				実 績		評 価	
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	①	食品の安全及び安心に係る情報	チラシやパンフレットなどによる農産物の安全・安心の周知活動	随時	0			産業観光課
	計				0	0		

平成27年度 朝ごはん運動実施計画

基 本 方 針		4 鶴田町において生産された農産物の当該地域内における消費（以下「地産地消」という。）の推進					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(1)地産地消の推進体制の整備に関する事項					
ガイ ド ラ イ ン	・各種農業団体と連携し地場産品の生産振興及び消費拡大を図る ・地場産品等の生産振興及び加工品の開発を図る				実 績		評 価
実 施 計 画	事 務 事 業 名	事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	① 地場産品の生産振興の推進と消費拡大	観光農園の積極的なPR活動	随時	0			産業観光課
	② 大豆・米加工施設の利用促進	加工商品の開発及び製造・販売の強化	随時	0			産業観光課
	計			0	0		

平成27年度 朝ごはん運動実施計画

基 本 方 針		4 鶴田町において生産された農産物の当該地域内における消費（以下「地産地消」という。）の推進						
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(2)町民による鶴田町において生産された農産物（以下「地場産品」という。）の積極的使用に関する事項						
ガイ ド ラ イ ン	・マーケティング・リサーチ活動を実施し、地場産品の把握及び販売の強化について方策を立てる				実 績		評 価	
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	①	青森県特別栽培農産物認証米「鶴の輝き」の生産及び消費拡大	当町産の認証米を農協・あるじゃの加工施設で商品化し消費拡大を図る	加工量：17,000kg うち学校給食：11,000kg	0			産業観光課
	②	転作作物として生産された大豆・小麦加工品の消費拡大	当町産の大豆・小麦をあるじゃ加工施設で商品化し消費拡大を図る	9,000kgを豆腐、テンペ等に加工・販売	0			産業観光課
				小麦10,000kgをあるじゃ加工施設で加工・販売	0			産業観光課
	③	各料理教室の開催	町における料理教室	年１２回開催(教養講座)	112			教育委員会
				年１回開催 (農家女性いきいき講座)	35			産業観光課
	新④	子育て支援米の支給	18歳までの子どもがいる世帯に対し、1人につき20kgの鶴田産つがるロマンを支給する。	対象者：0歳～18歳まで 2,136人	14,492			総務課
	計					14,639	0	

平成27年度 朝ごはん運動実施計画

基 本 方 針			4 鶴田町において生産された農産物の当該地域内における消費（以下「地産地消」という。）の推進							
ガ イ ド ラ イ ン 項 目			(3)地場産品を使用した学校給食の推進に関する事項							
ガイ ド ラ イ ン	・安全で安心な地場産品を使用した学校給食を提供するための生産・流通体制の整備を目指す				実 績		評 価			
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容		実 施 目 標 等		予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	①	学校給食応援隊の活動推進	地元農家から給食の食材として地場産品を提供してもらう制度の確立		かぼちゃ、玉ねぎ等 2,000kg		400			教育委員会
	②	学校給食に地場産品の活用	米・りんご等の使用		米を県特別栽培農産物認証米「鶴の輝き」を使用 11月からりんごを提供		0			教育委員会
	計						400	0		

平成27年度 朝ごはん運動実施計画

基 本 方 針			4 鶴田町において生産された農産物の当該地域内における消費（以下「地産地消」という。）の推進					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目			(4)町長、関係機関及び関係団体が行う事業における、地場産品の積極的使用に関する事項					
ガイ ド ラ イ ン	・農業協同組合、あるじゃ、津軽ぶどう協会、各種農業団体等と連携し、地場産品の販路拡大を推進する				実 績			評 価
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	①	町内イベントでの地場産品の紹介	さくらまつり、つるたまつり（米消費拡大イベント「龍巻寿司」）、各種特産市等で紹介・販売	年3回開催	524			産業観光課
			成人式・実年式・各大会などの記念品、賞品に活用	年3回開催	45			教育委員会
			フッドリバー市民と親しくする会、新年を祝う会で紹介	年2回実施	362			総務課
	②	町外イベントでの地場産品の紹介	青森人の祭典で紹介・販売	年1回参加	234			産業観光課
			ふるさと鶴田会総会・役員会で紹介	年2回実施	365			総務課
	新③	地場産品の販路拡大事業	スチューベンぶどう販路拡大トップセールス	年1回開催	285			産業観光課
			観光・物産資源PRキャンペーン	年2回参加	930			産業観光課
	計					2,745	0	

平成27年度 朝ごはん運動実施計画

基 本 方 針		5 食育推進の強化						
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(1)食に関する様々な体験及び体感による学習の推進に関する事項						
ガイドライン	・ 保育所、幼稚園、学校で1年に1回は学習の実施を目指す				実 績		評 価	
実施計画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	①	子どもと一緒にクッキング	各小学校を対象に、朝ごはん作りの体験教室を実施	各小学校各学年対象 年21回実施	144			教育委員会
	②	朝ごはん運動推進体験学習の実施(教育ファームの推進)	農業者の指導を受けながら農作業を体験	米づくり(4校) りんごづくり(5校) 野菜づくり(4校)	0			教育委員会
	計				144	0		

平成27年度 朝ごはん運動実施計画

基 本 方 針		5 食育推進の強化						
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(2)教育関係者の食育学習の推進に関する事項						
ガイド ライン	・ 1年に1回は学校保健会などが中心となり食育学習等の実施を目指す				実 績		評 価	
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	①	食育と生活リズム推進委員会	小中学校・保育所等の情報交換及び推進のための方策研究	年3回実施	0			教育委員会
	計				0	0		

平成27年度 朝ごはん運動実施計画

基 本 方 針		5 食育推進の強化						
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(3)学校給食を通じた食育の推進に関する事項						
ガイドライン	・子どもの食に関する理解の促進と町の特色を生かした給食の提供を目指す				実 績			評 価
実施計画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	①	学校給食で郷土食、行事食メニューなどの実施	各小中学校を対象	年１２回実施	0			教育委員会
	②	食に関する指導	各小中学校を対象に栄養教諭が食育の授業を実施	年６０回実施	0			教育委員会
	計				0	0		

平成27年度 朝ごはん運動実施計画

基 本 方 針		5 食育推進の強化						
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(4)国際交流による食育の推進に関する事項						
ガイド ライン	・外国の食文化を体験及び学ぶことで、米食文化の再認識を目指す				実 績		評 価	
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	①	姉妹都市フッドリバー中学生親善訪問事業	外国の食生活を学ぶ	年1回実施 参加人員20人	52			教育委員会
	計				52	0		

平成27年度 朝ごはん運動実施計画

基 本 方 針			6 米文化の継承							
ガ イ ド ラ イ ン 項 目			(1)米の生産者と消費者との交流の促進に関する事項							
ガイド ライン	・生産者と消費者との情報交流の場の設定を目指す				実 績			評 価		
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容		実 施 目 標 等		予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	①	町内外のイベントで地域産農産物等の紹介	各種イベント等における特産品の情報発信活動	随時実施	0			産業観光課		
	②	道の駅を中心とした情報交流の場の開催	あるじゃ及び各道の駅でのイベント等における特産品販売・PR活動	年2回開催	0			産業観光課		
	計				0	0				

平成27年度 朝ごはん運動実施計画

基 本 方 針		6 米文化の継承								
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(2)伝統的な米文化の継承の推進に関する事項								
ガイド ライン	・ 伝統的な行事と結びついた米文化の知識や農具・器具等の伝承を目指す ・ 地域における伝統的な米食文化の継承を目指す				実 績			評 価		
実施 計画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容		実 施 目 標 等		予算額（千円）	決算額（千円）	進 捗 状 況 等	担 当 課
	①	米文化の伝承事業	米づくり体験、餅つき大会の実施		餅つき大会＝4 小学校（鶴田小・菖蒲川小・梅沢小・胡桃館小）		30			教育委員会
	②	歴史文化の伝承事業	米料理、伝統料理の継承と古民具の展示。		鶴田町歴史文化伝承館の活用		0			教育委員会
	計					30	0			

合 計	73,872	0
-----	--------	---